

# 小中一貫教育・統廃合を考える 講演と懇談会

静岡市は、少子化・人口減少を口実に、公共施設の総床面積を2043年までに20%削減する方針を市民不在で決定しました。そのうち、小学校、中学校も例外ではなく学校統廃合の手段として、小中一貫教育が進められようとしています。

教育委員会は、小1から中3までを見通した教育で、中1ギャップが解消できるなどと説明しています。しかし、教職員からは、「教職員の多忙化、長時間労働は、ますます深刻になる」、保護者からは「学校が遠くなったら通学の安全はどうなるの？」などの疑問が出されています。また、地域コミュニティの核である学校がなくなれば、住民は住み続けられません。

市民が安心して住み続けられ、子どもの健やかな成長や学力保障を最優先にするために、市政はどうあるべきか、一緒に考えましょう。

- **11月5日(土)** 午後2時～4時30分
- **グランシップ** 910会議室

## プログラム

- ・市議団より報告
- ・山本由美先生講演
- ・懇談



講師 **山本由美** 和光大学教授

東京大学大学院教育学研究科教育行政学専攻修士課程を経て  
2010年度から和光大学教授  
主な著書 『小中一貫で学校が消える』『検証小中一貫教育』など

主催 **日本共産党静岡市会議員団**

後援 **市民が主人公の新しい静岡市政をつくる会**

お問い合わせ

日本共産党静岡市会議員団まで  
電話 254-2111 から 日本共産党市会議員団へつないでください